



10月1日（日）若者たちが集う一大イベント「甲佐蚤（のみ）の市」が市街地で開催され、手作り雑貨や小物、アンティーク家具などの出店に秋の1日は活気にあふれました。

# 甲佐蚤（のみ）の市

大井手川の町並みなどを楽しむ  
若者の交流でにぎわう蚤の市

10月1日（日）市街地の大井手川周辺で、「甲佐蚤（のみ）の市」が開催されました。  
空き家や空き店舗が目立つ商店街の活性化や町内外をはじめとした若者などの交流、本町のPRの促進などを目的として、甲佐町商工会（中村幸男会長）が主催し、今年で5回目。町内外の店舗などから日用雑貨やアークセサリー、家具、衣料品、陶芸品、飲食店など約150団体が出店しました。  
町内はもとより県内外の各地から訪れた来場者で、秋晴れに恵まれた市街地の会場は大にぎわい。個性的でさまざまな出店

が立ち並ぶ市街地の風景や大井手川の流れる風情ある町並みを楽しみながら散策する、若者たちの活気と明るさがあふれる1日となりました。

アンティークやレトロな品物が市街地に並ぶ一大イベント

歩行者天国のエリアに出店された店舗には、アンティーク家具やレトロな雑貨、手作りのおしゃれな小物や使い込んで味のある古着、オブジェや木工の食器やキッチン用具、端切れや布、民族衣装など、さまざまな品物が店棚や路上などに所狭しと陳列。来場者は気に入った品物を手に取って品定めしたり、店主との会話を楽しんだりして、県内での一大イベントとなった本町の秋の催しを満喫しました。  
会場では、やな場やグリーンパル甲佐を周遊するロンドンバスが運行され、にぎやかで陽気な音楽でイベントを盛り上げる路上パフォーマンスなどもあり、「蚤の市」を華やかに演出しました。また、飲食エリアのブースでは、甲佐町特産品ブランド「こうさんもん」の店舗や町内の飲食店なども出店。来場者は本町の名産や旬の味も堪能するなど、本町の魅力を町内外にアピールするイベントとなりました。

